

## 日当り施工量から算出する歩掛数値の処理について

環境政策部、資源循環部、土木部、港湾部、上下水道局（下水）で使用している積算システムで、以下の施工単価コードは、歩掛数値の計算を下記のとおりとしているのでご注意ください。

対象施工単価コード

コード番号	コード名称	内容	備考
WB410410	セメントミルク浸透工	100/Dで得た数値を小数点以下第3位で端数処理し、その数値に、編成人数等乗じ、小数点以下第3位までとしている。	具体例は、下記参照
WB410910	型枠工[RCCP工]		
WB410920	舗設工[RCCP工]		

(例) 日当り施工量：D=1,050 (m<sup>2</sup>/日) で編成人員がそれぞれ、世話役1人/日、特殊作業員4人/日、普通作業員8人/日及び振動ローラ1台の場合

$$100\text{m}^2 \text{ 当り所要日数} = \frac{100}{1,050} = 0.0952 \div \underline{0.095} \quad (\text{小数点以下第3位止め 4位四捨五入})$$

- ・世話役 1人×0.095=0.095人/100 m<sup>2</sup> (小数点以下第3位止め 4位四捨五入)
- ・特殊作業員 4人×0.095=0.380人/100 m<sup>2</sup> (小数点以下第3位止め 4位四捨五入)
- ・普通作業員 8人×0.095=0.760人/100 m<sup>2</sup> (小数点以下第3位止め 4位四捨五入)
- ・振動ローラ 1台×0.095=0.095日/100 m<sup>2</sup> (小数点以下第3位止め 4位四捨五入)

※式の詳細については「土木工事標準積算基準書（土木工事編）〔Ⅱ〕 第Ⅳ編 道路 第1章 舗装工 ②アスファルト舗装工 ②-2半たわみ性（コンポジット）舗装工、及び ⑤コンクリート舗装工 ⑤-2ローラ転圧コンクリート舗装工（RCCP工）を参照してください。